

市区町村名

島根県邑智郡美郷町

担当部署

美郷町議会事務局

電話番号

(0855)

75 — 1937

# 1 取組事例名

議会におけるタブレット端末導入事業

# 2 取組期間

平成26年3月第1回定例会から導入(継続中)

#### 3 取組概要

美郷町議会と町執行部が連携し、事業効率化・会議のペーパレス化を目的にタブレット導入の検討に入り、議会は議会改革特別委員会を設置し、操作講習会や先進地視察を行って、平成26年3月第1回定例会から議会運営にタブレットを導入した。

## 4 背景・目的

事務効率化を目指す町執行部局がタブレット端末導入を検討 議会運営の効率化を図るため町執行部局と連携して導入を検討 ペーパレス化による経費削減と、タブレットを使用したスピーディーな情報伝達を図る。

# 5 取組の具体的内容

タブレット導入先進地である神奈川県逗子市への視察

議会議員対象にタブレット操作講習会開催

議員携帯電話をスマートフォンに変更

タブレットを議会議員用12機、町執行部15機購入。

会議ソフト SideBooks を採用。

美郷町議会会議用タブレット使用範囲・美郷町議会会議用タブレット使用基準の作成。

議会本会議、各委員会、全協などの運営に活用。また、議会事務局からの諸報告、通知の配信に使用。

「SideBooks」フォルダ構成別紙

# 6 特徴(独自性・新規性・工夫した点)

当時、県内の市町村未導入また全国に於いても小規模自治体未導入事業。 議案や委員会資料のみの使用でなく、会議・研修等開催通知の送信など諸連絡にも使用。 使用範囲や使用に関する基準を設け、個人情報などの漏洩に関する対策を講じた。

# 7 取組の効果・費用

## タブレット導入に係る費用及び削減効果等

#### ●タブレット購入費

|       | 種類           | 単価(円)  | 購入数 | 金額(円)     |
|-------|--------------|--------|-----|-----------|
| 議員用   | iPad Air 32G | 60,564 | 12  | 726,768   |
| 町執行部用 | iPad Air 16G | 50,763 | 12  | 609,156   |
|       | iPad Air 32G | 60,564 | 3   | 181,692   |
| 計     |              |        | 27  | 1,517,616 |

### ●SideBooks クラウドサーバーレンタル料

初期設定料 86,400円(税込)

月額使用料 81,000 円 ( " ) 年間 972,000 円

[月額使用料內訳:契約內容] (稅込:円)

| 基本料 (ファイル容量1GB)        | 21,600 |
|------------------------|--------|
| クライアントライセンス (~50人ユーザー) | 10,800 |
| オプション(容量追加10GB)        | 48,600 |
| 計                      | 81,000 |

#### 【削減経費】 約65万円(約3万9千枚)

※紙ベースの印刷費用のみ(人件費は含まない)

### 【導入経費】 タブレット本体 1,518千円(27台)

カバー 121千円 (27個)

システム初期費用 85千円(税込)

運用経費(月額) 81千円(税込)

※クライアント数50人以下、追加10GB)

# 8 取組を進めていく中での課題・問題点(苦労した点)

高齢議員のICT機器への不安感があり、これを払拭するため、外部講師による機器の取扱研修会を実施し、タッチパネルになれるように携帯電話を全議員スマートフォンに変更しました。

インターネットにつながるため、各種アプリのダウンロードなど機器の個人使用の制限を設ける必要がありましたが、インターネット使用料金は個人負担であるため、議員は庁舎外持ち出しと自由な利用を可能とし、執行部については業務外使用を制限することとしました。

## 9 今後の予定・構想

SideBooks のシステム機能を使い切っておらず、検索機能や閲覧機能の習熟を今後進めていきます。 また、会議システムの充実と使いやすいシステムとするため、メーカーに必要な機能について提案したいと考えます。

# 10 他団体へのアドバイス

議員の不安を払拭する取り組み(操作研修・視察)が必要。全員がスマートフォンにするのもそのひとつです。

SideBooks のシステム以外にも、会議システムはあるので、対比しながら各自治体の議会運営に適したシステム導入を考える必要があります。

タブレットなどの機器は5年が寿命とされていますが、議員の任期を考えると4年で更新する必要が あります。

大きな自治体ほど、多額の機器更新コストが4年毎に必要となることを忘れないようにすることも必要です。